

うちこ福祉館だより

令和元年
11月発行
電話・FAX
44-3410

共催事業 ちがいてなくんだ

若い世代の方にも来館してほしい、人権は身近なものとして知ってもらいたい…そんな思いから、十月二日（水）、内子町子育て支援センターとの共催事業として、同センターを利用される親子を対象に、うちこ福祉館にて健康講座を開催しました。

福祉館の中で託児を行いなから、保護者の方に人権に関するワークショップと調理実習を行いました。調理実習では皆さんの手際が良く、あっという間に終了しました。ワークショップでは、まず、いくつかの項目をもとに書いた絵を見せあいながら話し合い、同じ言葉や文章でも、受け止め方やイメージする内容がそれぞれ違うことを確認しました。続いて「あっていい

と感じるちがい」、「あると将来危険に感じるちがい」について、個人で考えたのち、五〜六名のグループで意見交換を行いました。

最後に、自分と違う考えを持つ人がいることに気づき、共感できなくても相手の思いを理解したり受け入れようとする、また自分の思いを受け入れてもらうこと、どちらも大切であることを全員で考えました。

終了後は、家族との会話や自分の行動を重ね合わせた、託児があったからこそ参加できた等、それぞれ違った感想を寄せていただきました。

うちこ福祉館では、今後も子育て支援センターと連携した講座等を開催していきたいと考えています。



2つのグループに分かれて自由に意見交換

柏もちの葉っぱはクッキングシートでも代用できますヨ！



全国隣保館職員 四国ブロック研修会

十月三日（木）〜四日（金）松山市において、第五十六回全国隣保館職員四国ブロック研修会が開催されました。

二日目の記念講演ではNPO法人翼学園理事長 大野まつみさんによる「子ども達のSOSを受けとめて」と題し講演がありました。学校へ行けない子ども達に寄り添い支援をしていると話されており、教育及び福祉の相談に総合的に応えられる相談体制の整備が必要だと感じました。

福祉館でも、相談事業は重要であると考えています。館単独で対応できない場合でも、関係機関と連携し、必要な方へ必要な支援や情報が迅速に届けられるよう努めます。



館長等・担当者研修

九月五日（木）県隣保館館長等研修会、六日（金）同実務担当者研修会が、愛媛県委託事業として松山市北条ふれあい館において開催されました。

館長等研修では、ウィメンズカウンセリング徳島の河野和代さんから「人間の家族関係と女性の人権」と題した講演とドメスティック・バイオレンス（DV）に関するグループ討議が行われました。

実務担当者研修では「聴覚障がい者と文字情報」と題して、愛媛県要約筆記サークル連絡協議会副会長・NPO法人フアインサポート・パピエ理事長の原田佳代さんの講話がありました。

コミュニケーション方法には手話、指文字、口話（読話）、筆談などがあり、複数の手段を用意するのが望ましいこと、必要な支援には会話・危険・情報が正しく伝わる「情報保障」が重要であること、更に「伝えたからといって相手に伝わっているとは限らない。分かっているかないかも、という思いを持ったうえで伝えてほしい。」と話されました。

血糖値について正しい知識を持ちましょう

九月十八日（水）、第二回健康講座を行いました。

町保健センター管理栄養士の河野洋子さんから「からだにやさしい食事術」と題して、成人の六人に一人が糖尿病や予備群であること、糖尿病がどんな病気でないぞ怖いのか、また、肥満予防や食生活の見直しといった糖尿病にならない生活習慣の大切さなどについて教えて頂きました。



前半の講話の様子。皆さん真剣です！

その後、血糖値を上げない食事をテーマに調理実習を行いました。白米を雑穀にすると糖の吸収が緩やかになる、汁物では濃い味が好きな人は七味唐辛子を加える等、少しの知識と工夫によって、バランスの良い、おいしい食事を作ることができます。



←いよいよ実食

↓協力し作ります

出来上がり

内子高校文化祭にて



多くの方にお越しいただきました。

人権啓発活動の一環として、十月二十六日（土）、愛媛県立内子高等学校の文化祭へ初めて参加させていただきました。

人権委員会の皆さんにも協力していただき、高校生や保護者の方、地域の皆さんへ、うちこ福祉館の活動をお伝えしたり、十一月八日（金）の人権コンサート、九日（土）の福祉館まつりのチラシを配布しました。

十一月八日（金）前夜祭
九日（土）福祉館まつり
皆様、ぜひお越しください！